

さみどり

藤枝市立瀬戸谷小学校

学校だより No. 8

令和 7年 10月 24日

学校重点目標 : 自分から行動 「わくわく」を共に創り出す

いいですかあ	たべても	かあかあ	たずねます	からすがみんなに	すんだあと	かきのおしさせ	まっかつかあ	かきのみ	かあかあ	しらせます	からすがみんなに	うれたので	かきがまっかに	かき
--------	------	------	-------	----------	-------	---------	--------	------	------	-------	----------	-------	---------	----

株式会社童話屋「まど・みちお詩集 ぞうさん」より

小中合同体育祭、瀬戸谷が燃えた一日になりました。

10月17日、時間を遅らせての開会式となりましたが、第14回小中合同体育祭が終わりました。朝、登校する子どもたちが弾んでいるように見えました。1年間の中で、子どもたちがわくわくする大事な行事である証拠です。当日は温かな応援をありがとうございました。

今年はまだ暑い中、9月から練習を重ね、当日を迎えました。合同体育祭を初めて経験した1年生、応援席での応援に熱が入った2年生、1、2年生にダンス指導をしてくれた3年生、初ソーランに取り組んだ4年生、合同体育祭の運営にも携わった5年生、運営はもちろん、竹馬や一輪車など、今までやったことのないことができるようになった6年生、みんな輝いていました。合同体育祭を通して、子どもの目に思わず涙があふれてしまった場面もみられ、目に見える競技の様子や勝敗だけでなく、心が動く貴重な経験をした子どもたちがいます。とても尊いことを学んだ子どもたちの姿から、このような機会を更に大切にしていかなくてはと感じています。



当日、子どもたちの登校が完了し、正門に立てた「運動会」の看板を確認に行ったところ、看板の横にちょこんと吊り下げられた、水色とピンクのハートがついた1対のてるてるぼうずを見つけました。ずっとお天気の心配をしていた合同体育祭でしたから、見つけたとたん、あまりの可愛さに心がじんわり温かくなりました。「誰がつけてくれたのだろう??」体育祭が終わってからもわからぬまま日が過ぎ、少し経ち、ディレクターの黒山様からお話を伺って、ようやくわかりました。毎年、米作りでお世話になっている渡辺様ありがとうございました。いつも瀬戸谷の子どもたちをまるごと大切に思ってくださっている方がいることに感謝しています。

